

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○濱田 淳一 倉橋 昌司 (非)

【概 要】

人体構造機能学Ⅰ～Ⅳとともに、これから学ぶ病理学、病態学、看護学などの基礎を支える科目である。人体構造機能学で学んだ知識を演習および実習によってさらに深める。

【学習目標】

- ・人体の設計図であるゲノム情報の読み方を習得した上で、各臓器間の相違を説明できるようになること。
- ・人体構造機能学講義で学んだ解剖学の知識をもとに、人体解剖のDVDの視聴および画像解剖学を通じて人体を構成する各臓器の位置関係ならびに各臓器間での情報のやり取りを臨床解剖学的に理解できるようになること。
- ・人体構造機能学講義において学んだ人体機能の知識を演習問題、デモンストレーション、実習によって深め、ヒトの「生きるしくみ」を説明できるようになること。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	体液	体液の区分と特徴、成分濃度、浸透圧	倉橋
2	摂食嚥下	咀嚼、歯の歯周組織、唾液分泌、口腔感覚	倉橋
3	呼吸	呼吸気量および肺活量予測値の計算、呼吸数および息こらえ時間測定	倉橋
4	心電図・心音図、脈波	心電図導出法、心電図と心音の関係、脈拍測定	倉橋
5	血圧、その変動と調節	血圧測定法（触診法と聴診法）、血圧変動と調節	倉橋
6	腎臓機能	尿検査、クリアランスによる腎機能測定	倉橋
7	酸塩基平衡	酸塩基平衡とその異常	倉橋
8	ゲノム情報の読み方	人体の設計図であるゲノムの構造とそこに書き込まれた情報の読み方について理解する	濱田
9	循環器系臓器	人体解剖のDVDを視聴し、循環器系臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
10	呼吸器系臓器	人体解剖のDVDを視聴し、呼吸器系臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
11	腹腔内臓器	人体解剖のDVDを視聴し、腹腔内臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
12	骨盤内臓器	人体解剖のDVDを視聴し、骨盤内臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
13	腎・泌尿器系臓器	人体解剖のDVDを視聴し、腎・泌尿器系臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
14	画像解剖学	CTなどによる画像診断像をみながら臓器の空間的位置関係を理解する	濱田
15	疼痛の科学	主要臓器における痛みについて生物学的・解剖学的に考えてみる	濱田

【評価方法】

定期試験 100%（濱田50%、倉橋50%）

【備 考】

教科書：教科書：特に用いないが、系統看護学講座 専門基礎1 解剖生理学：人体の構造と機能（1）（医学書院）を参照する

【学習の準備】

次回の演習内容に相当する範囲を、1年生の時に使用した教科書（系統看護学講座 専門基礎1 解剖生理学：人体の構造と機能

(1)、医学書院)で熟読しておくこと(20分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP2,4